

ワークショップ  
次の大規模災害が起きる前に、東日本大震災等の教訓を考える WS

## ～震災復興における子ども・若者支援とは？～

2011年3月11日の東日本大震災から丸6年が過ぎ、発災当時中学3年生だった子どもたちが、今年成人式を迎えました。大学卒業後を考える時期に差し掛かってきています。

私たちは震災後、学習や遊び支援の場づくりや、地域の復興・まちづくりへの参加支援等の様々な活動に関わってきました。

「それらは支援として有効だったのだろうか？」 東日本大震災から丸5年たった今だからこそ、その問いに答えられるのではないか、と私たちは考えています。

そこでこのWSでは、被災体験をもつ若者と共に、震災後の支援活動を振り返り、将来を語ることで、支援活動の有効性や課題等を明らかにしたいと考えています。

例えば、

○今後、自分の故郷にどんなまちになって欲しいか。

○自分はどんな大人になりたいか。

○自分が大人になった時に大規模災害が起こったら、どんなことをするか 等について

若者たちの思いを聞き、一緒に考えませんか？

私たちは、このWSの成果を、国や社会への「震災復興における子ども・若者支援に関する提言書」としてまとめ上げるつもりです。



※このWSの元になる議論に参加・協力してくれているメンバー

岩手県山田町、宮城県南三陸町、福島県福島市・いわき市・楡葉町等の出身者、被災地支援にかかわっている東洋大学学生が参加

- 日時： 2016年8月5日〔土〕10時～15時（昼食付き）
- 会場： 東洋大学白山校舎雨水会館3階302会議室〔正門向かい〕
- 対象： 東日本大震災等で被災した子ども・若者たち  
又は、支援に関わってきた子ども・若者たち  
※参加者希望者は、事前に下記のメール等に連絡をください
- 主催：東洋大学人間科学総合研究所（研究代表：森田明美）
- 後援：東日本大震災子ども支援ネットワーク

問い合わせ・連絡先： 東洋大学人間科学総合研究所

（月、木、金 10時～18時 担当：勝部）

〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20

メール：morita@toyo.jp 電話：03-3945-7492

